

Labo News

らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
 花車ビル南館 〒450-0002
 電話 052-581-1013
 F A X 052-586-5680
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
 Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
 取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
 普通口座731-677
 発行人 梶山広美
 編集人 山田 真

No.425 目次

- ◆平成29年度定時総会開催報告 …… (2)
- ◆平成29年度定時総会報告 …… (3)
- ◆平成29年度
日臨技中部圏支部内連絡会議報告 …… (3)
- ◆第35回愛臨技
東三河地区研究会に参加して …… (4)
- ◆地区だより …… (5)
- ◆第63回愛知県糖尿病療養指導研究会
学術講演会 …… (5)
- ◆基礎講座・講演会・研究会 …… (6)
- ◆一般社団法人日本臨床衛生検査技師会
創立65周年・法人化55周年記念式典報告
…………… (8)

渉外部門の活動報告と今年度の取り組み

渉外部門担当副会長 中根 生弥

愛臨技渉外部門担当副会長として技師会会務に携わり1年が経過しました。これも一重に、愛臨技会員はもとより、賛助会員や各関連団体のご協力のおかげと心より感謝申し上げます。就任当初は執行理事として、これまで継続されてきた多くの事業を滞りなく遂行することに専念し、並行して平成29年度新規事業への取り組みを模索する年でありました。また公益社団法人である本会の目的を達成するための事業を企画し、実現させたいと考えておりました。

さて私の担当する渉外部門は、組織部と広報部より構成されており、担当部長とそのサポート部隊として数名の委員を中心に活動を行っています。組織部活動の目的は組織力の強化であり、会員・施設・関連団体そして県民との関わりをもつ事業を中心に開催しています。これまでの継続事業として、「海岸清掃ボランティア」・「検査説明・相談ができる検査技師育成講習会」・「全国検査と健康展」・「管理運営研修会」・「スポーツ大会」・「ニューイヤーパーティー」などを開催しています。

今年度は新たな企画として、新人技師を対象に企画した「フレッシュセミナー2017」では、会員・賛助会員の新人を対象に、医療人として持ち備えなければならない強靱なフィジカルとメンタルを養うと同時に、同期としての横糸を繋ぐ機会としました。11月には日臨技企画として、「全国検査と健康展」を中央会場として開催し、県民はもとより中高校生に「臨床検査技師」の職能を理解していただくイベントも控えており、万全の準備を進めています。

一方、広報部の事業は会員・県民に広く臨床検査関連情報を伝える広告塔として、広報誌やホームページの作成および管理を中心に行っています。特にホームページのリニューアルを図ったことで、WEBを用いた研修会登録を可能にしました。また学術部研究班のホームページ担当者とも運用方法の摺合せを行い、ホームページが適正に運用されているかの管理は、目立った活動としては理解されにくいですが、担当委員の裏方的活躍には敬服するばかりです。また今年度は中部圏支部医学検査学会を当会が担当することもあり、学会ホームページの新規開設やポスターの作成など表部隊の活躍も多く、広報部門として全力で技師会をサポートしています。

最後になりますが、国会では医療法の一部改正が成立したことで臨床検査の現場にも新しい流れが出来てきています。愛臨技もこの変化に対応すべく、引き続き総務部門および学術部門と連携を密に事業を進めていきますので、会員の皆さんも一緒に新しい臨床検査の扉を開いていきましょう。

公益社団法人愛知県臨床検査技師会 平成29年度定時総会開催報告

庶務部長 夏日久美子

去る平成29年6月25日(日)午前10時より、TKPガーデンシティ PREMIUM名駅桜通口ホール4Dにおきまして、公益社団法人愛知県臨床検査技師会平成29年度定時総会を開催いたしました。

はじめに梶山会長より、平成28年度事業についてご審議をいただくこと、愛知県臨床検査技師会の歴史が職能団体として社会に貢献する役割を担っていること、職場や技師会活動で活躍できる若手技師の育成を行い次の世代にバトンを繋いでいく年にしたいこと、などについての挨拶がありました。次いで議長に中西太氏(中京病院)が選出され、総会運営規程に基づき書記、資格審査委員兼議事運営委員、議事録署名人が選出されました。資格審査委員長から正会員数3,205名(過半数1,603名)のところ出席者数175名、委任状出席2,185名の合計2,360名の出席があり、総会が成立していることが宣言され議案審議へと進みました。審議事項として、第1号議案「平成28年度事業報告」、第2号議案「平成28年度決算報告」、第3号議案「平成28年度監査報告」、第4号議案「名誉会員の推薦について」の各議案はともに賛成多数で承認されました。荻津直通元会長が名誉会員として承認されました。報告事項として、「平成29年度事業計画」、「平成29年度収支予算」についての報告が行われました。途中、思いもよらず日臨技宮島喜文会長のご挨拶をいただくという出来事がありました。総会に引き続き、愛知県健康福祉部保健医療局長の松本一年氏(代読:健康福祉部保健医療局生活衛生課主幹栗木雅洋氏)を来賓としてお迎えしてご挨拶をいただいた後、永年職務精励者の表彰式が執り行われました。永年職務精励者表彰は63名が受賞されました。おめでとうございます。会員の皆様には日曜日の雨天の午前中にもかかわらず多数お集まりいただき、大変ありがとうございました。



一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 平成29年度定時総会報告

藤田保健衛生大学病院 藤田 孝

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会創立65周年・法人化55周年記念式典が執り行われた翌日、6月24日（土）に、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会平成29年度定時総会が東京・大森東急REIホテルにて開催されました。総会冒頭、宮島会長のご挨拶では、フリーアナウンサーの小林麻央さんが逝去されたことに触れられ、ブログを引用されるとともに「本当に私たちが検査したことが、医療の貢献につながっているのか」と、たいへん重い提起をされました。

議案審議では、第1号議案「平成28年度事業報告及び決算報告」、第2号議案「役員の報酬等及び費用に関する規程の改定について」、第3号議案「会員及び会費等に関する規程の改定について」の各議案について慎重に審議が行われました。有効正会員数58,768名、定足数29,385名、出席正会員34,979名という出席状況のなか、承認多数によりすべての議案が議決されました。

総会後には、各県技師会と日臨技との意見交換の場が設けられ、法改正の問題や全国学会開催地の問題など活発な意見交換が行われました。

平成29年度日臨技中部圏支部内連絡会議報告

日臨技中部圏支部幹事 藤田 孝

去る7月1日、日臨技中部圏支部内連絡会議が名古屋駅隣接の名駅ABCビルにて開催されました。本会議は、日臨技の決定事項や各県技師会の報告、支部運営などについて支部幹事および支部学術部門長同席のもと、報告あるいは協議される会議です。今年度の会議はまず山本幸治中部圏支部長から、日臨技支部長会議の報告があり、支部研修会の開催概要や会計処理マニュアルをはじめとする各種取り決め、今年度の日臨技からの助成金、組織強化の活動、学会開催予定などについて報告がありました。特に「初級・職能開発講習会」および「e-ラーニング」について詳しく説明があり、「初級・職能開発講習会」については今後3年間で中部圏6県のすべての県での開催について日臨技から要請されている旨の報告がありました。1年に2県ずつ開催することとし、愛知県は平成30年に開催することになりました。「e-ラーニング」につきましては、既に試験運用が始まっていること、7月24日までの試験運用期間は無料で体験できること、8月1日から有料で本稼働となることが報告されました。生涯教育の点数も付与されることから、是非ともみなさまに活用していただきたいと思います。日本医学検査学会の開催予定としては、平成30年は静岡県（5月12日～13日；浜松市）、平成31年は山口県（5月18日～19日；下関市）で、中部圏支部医学検査学会の開催予定としては、平成30年は三重県（11月24日～25日；津市）、平成31年は岐阜県（詳細未定）で開催されること、併せて支部研修会開催計画が報告されました。多くの会員のみなさまにご参加いただきますようお願いいたします。その他、各県からの報告もあり、愛知県としましては、9月30日と10月1日に開催する中部圏支部医学検査学会、11月11日に開催する全国検査と健康展などについての準備状況を報告するとともに、多くの中部圏支部会員のみなさまにご参加いただくよう要請を行いました。

最後に、日臨技および中部圏の各県技師会が連携を深めるためには、各県からの支部幹事および学術部門長により構成される支部内連絡会については支部自体が大きな役割を果たします。会員の皆様におかれましては、支部に関するご意見・ご要望など忌憚ないご意見を愛臨技事務所までご連絡ください。

今後とも日臨技中部圏支部並びに日臨技、および愛臨技の活動にご理解・ご協力をお願いいたします。

第35回 愛臨技東三河地区研究会に参加して

J A愛知厚生連渥美病院 真木 義友

2017年7月2日(日)に第35回東三河研究会が田原文化会館で開催されました。今回、私が勤める厚生連渥美病院が主催者としての開催となり、当日は東三河地区の多数の会員に参加していただきました。

一般演題は9題で貴重な症例や各施設での取り組みを聞くことができ、当院でも取り入れることができるのではないかと、とても参考になりました。自分自身、演者という立場で参加させていただき貴重な経験をすることができました。研究会前日まで試行錯誤して作り上げたスライドを発表し、評価していただけたことはとても嬉しく思います。

公開講演では名古屋学芸大学大学院教授の下方浩史先生をお招きし、「いつまでも元気に暮らそう」という演題で健康長寿についての講演をしていただきました。いつまでも健康で生きるには運動や食事だけでなく夢を持つことが大事だと聞いて、自分の目標をしっかりと決めようと思いました。仕事の目標だけでなく、次の休みに旅行に行こう、こんなことをしようなどどんなことでもいいので1つ目標を持つようにしようと思います。

東三河地区研究会では近隣の医療施設の方が多数参加し、交流を深める機会にもなります。東三河地区を盛り上げるためにも、今後も積極的に参加し情報の交換ができればよいと思います。





皆さんは「八千代病院」という病院をご存じですか？不妊治療の病院？確か新城駅の近くにあった？などその程度ではないでしょうか。今回はそのようなイメージを覆し、実はこんな素敵な病院なんだよということを知ってもらえたらと思います。当院は安城市の北部に位置し一昨年の改築もあり420床となりました。技師数は常勤・パートあわせて38名と意外と大所帯な病院ですが、歴史は古く明治33年の開業から「すべては、地域のために」をモットーに安城市や医師会、地域の医療機関などと連携をとり、地域医療システムを構築してきました。そ

の結果、2015年に国際病院連盟主催の「第39回世界病院会議」において国際病院連盟賞優秀賞を受賞し、地域には欠かせない存在となっています。またアットホームが売りの検査部も「検査部から元気を届ける！！」を合言葉に地域の健康フェアに積極的に参加するなど、一丸となって日々邁進中です。さらに検査室内も今年リニューアルされ、より働きやすい職場になりました。近くにお越しの際には、一度寄り道されてみてはいかがでしょうか？



《愛臨技生涯教育認定登録団体研究会のご案内》

**第63回
愛知県糖尿病療養指導研究会
学術講演会**

テーマ：糖尿病治療とCGMについて
 日時：平成29年9月24日(日) 13:00～16:20
 場所：名古屋大学医学部附属病院
 中央診療棟3階講堂
 一般講演 (13:05～15:00)
 司会：刈谷豊田総合病院 吉田 光徳
 ・血糖モニター SMBG・CGM・SAP・FGMについて
 岡崎市民病院 夏目久美子

- ・当院のCGM運用について
刈谷豊田総合病院 篠田 英邦
- ・当院のCGM運用方法と検査技師の関わり
半田市立半田病院 山崎 章子
- ・リブレプロを活用した療法指導の実際
～当クリニックにおける活用方法～
原内科クリニック 認定看護師 水野 美華

特別講演 (15:20～16:20)
 「CGMで診る糖尿病治療」
 講師：刈谷豊田総合病院 内分泌・代謝内科 服部 麗 先生
 ★本講演会は、「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として第1群1単位、第2群1単位が認定予定です。どちらかを選択してください。
 【参加費】 愛知県糖尿病療養指導研究会会員無料、その他参加者1,000円

基礎講座

病理細胞検査研究班

専門教科：20点

日時：平成29年10月22日(日) 9:00～16:00

場所：名古屋大学医学部保健学科
本館2階第1講義室、3階実習室
名古屋市東区大幸南1-1-20

テーマ：免疫染色の基礎

講義：1. 免疫染色における検体の取り扱い
愛知県がんセンター中央病院 柴田 典子
2. 肺癌治療と免疫染色
アジレント・テクノロジー株式会社 延崎 亮
3. 免疫染色のコツ
小牧市民病院 藤田 智洋

実習：迅速免疫染色と電界攪拌染色装置
西尾市民病院 中村 広基

内容：講義では、固定から未染色標本作製までの細胞診材料を含めた検体の取り扱い、PD-L1を中心に肺癌治療と免疫染色、初心者の疑問とトラブルシューティングから免疫染色のコツについて学びます。実習では、電界攪拌染色の原理を理解し、実際に迅速免疫染色を行います。今回の基礎講座では、認定病理検査技師更新単位の申請を予定しています。

定員：40名

参加費：4000円

申込方法：日本臨床検査技師会HP 会員専用ページの「事前参加申し込み」→「行事コード:170013169」からお申し込みください。申し込み後1週間以内に受領メールが届かない場合は、連絡先までお問い合わせください。

申込事項：①会員番号 ②氏名 ③かな氏名 ④施設名 ⑤電話番号(内線) ⑥病理経験年数 ⑦認定病理検査技師の有無

申込締切：9月22日(金)(定員になり次第締切)

アドレス：pathoexa@yahoo.co.jp

連絡先：JA愛知厚生連 江南厚生病院
臨床検査技術科 住吉 尚之
TEL 0587-51-3333(内線5639)

注意事項：昼食は各自で用意してください。受講料

の納入方法などは受領メールにてお知らせします。

基礎講座

微生物検査研究班

専門教科：30点

日時：平成29年10月28日(土) 13:00～17:00
10月29日(日) 9:00～13:00

場所：名古屋大学医学部 基礎研究棟
第1講義室・実習室

テーマ：耐性菌検出におけるPDCAサイクル
～作業は地味だが役に立つ!～

担当：藤田保健衛生大学病院 細田 卓也
公立陶生病院 位田 陽史
愛知医科大学病院 坂梨 大輔

内容：「多剤耐性グラム陰性桿菌の検出法」をテーマに企画いたしました。正確・迅速・効率的な結果報告のために必要なスクリーニング試験の選択、実施、結果の確認、考察までを2日間に渡り、知識と技術の両面から班員が丁寧にサポートいたします。翌日からの業務に有益な内容です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

定員：30名程度 受付先着順
経験年数3年程度、または耐性菌検出に自信の無い方。

参加費：4,000円
(県外会員4,500円、非会員6,000円)
※昼食の準備はありません。

申込先：愛臨技ホームページ微生物検査研究班よりお申し込み下さい。

申込期間：平成29年8月14日～9月4日

問合せ先：藤田保健衛生大学病院 細田 卓也

アドレス：thosoda@fujita-hu.ac.jp

講演会

生理検査研究班

専門教科：20点

日時：平成29年9月23日(土) 15:00～17:00

場所：独立行政法人 国立病院機構名古屋医療センター 講堂

テーマ：最新の肝臓病診療と治療

講師：1. 肝臓病の基礎

愛知医科大学病院

塚本実奈子 技師

2. 臨床検査技師が知っておきたい肝臓病の今

愛知医科大学病院 肝胆膵内科

伊藤 清顕 教授(特任)

司 会：JCHO 中京病院 加藤 鮎美 技師
内 容：C型肝炎ウイルスに対する経口抗ウイルス剤の普及に伴い、多くの患者さんでC型肝炎ウイルスを排除できるようになり、C型肝炎による肝臓がんは減少傾向にあります。一方、B型肝炎では、肝臓がんで亡くなる患者数の変化はほとんどありませんが、既往感染者からの再活性化等未だ多くの問題を抱えているのが現状です。近年、肝臓がんの原因として増加してきているのが、糖尿病や非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)といった肝炎ウイルス以外の要因によるものであり、肝臓病をとりまく環境は大きく変化しています。今回、技師から血液検査と超音波画像の見方を、臨床医から最新の肝臓病診療と治療について講演していただきます。

後 援：国立病院臨床検査技師協会東海北陸支部

2017年7月10日現在 正会員数 3,255名

研究会

病理細胞検査研究班

専門教科：20点

日時：平成29年9月9日(土) 15:00～18:00

場所：名古屋第二赤十字病院 研修ホール

テーマ：造血器腫瘍(リンパ系腫瘍)における血液検査及び病理検査

講師：1. 「骨髓像の読み方 造血器腫瘍を中心に」

豊橋市民病院

近藤 由香

2. 「造血器腫瘍の細胞像・組織像」

藤田保健衛生大学病院 川島 佳晃

3. 「フローサイトの基礎」

豊橋市民病院

内田 一豊

4. 「造血器腫瘍(リンパ系腫瘍)における染色体検査」

SRL株式会社

高森 栄一

司 会：名古屋第二赤十字病院 長田 裕之
内 容：造血器腫瘍の診断に必要な一連の検査を学ぶ勉強会を企画しました。初心者の方はもちろん、骨髓像の苦手な方も基礎を学ぶ絶好の機会となります。また、分子標的薬の進歩にともない、染色体検査の知識も今後は不可欠なものになります。ぜひこの機会に併せて学んでいただきたいと思います。病理関係者の方、血液関係者の方など多数の方のご参加をお待ちしております。

なお、今回の研究会では認定病理検査技師更新単位：A-15単位 B-20単位が承認されました。



一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 創立65周年・法人化55周年記念式典報告

藤田保健衛生大学病院 藤田 孝

去る6月23日（金）、東京・霞山会館におきまして、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会の創立65周年・法人化55周年記念式典が開催されました。

厳粛な雰囲気の中、横地常広副会長による開会の辞に始まり、宮島会長の式辞、衆議院議員・衛藤征士郎様をはじめ参議院議員・古川俊治様、日本医師会会長・横倉義武様より祝辞を頂戴いたしました。その他、多くの来賓の方にお越しいただき、粛々を会は進行され、その後厚生労働大臣表彰が執り行われました。今回、表彰していただいたのは全国で93名とのことで、あまり類のない多くの受賞者とのことでした。愛知県からは、森田秀夫氏、滝野寿氏、藤田孝の3名が受賞の栄に浴しました。これも偏に諸先輩方や関係各位のご指導、ご鞭撻の賜物と感謝いたしますとともに、会員のみなさまの技師会へのご理解とご協力によるものと厚くお礼申し上げます。

記念式典後は三井記念病院院長の高本眞一先生による記念講演会「患者とともに生きる」が開催され、有意義で身の引き締まる一日となりました。

日本臨床衛生検査技師会 創立65周年・法人化55周年「記念祝賀会」報告

社会医療法人宏潤会大同病院 森田 秀夫

6月23日、東京都霞山会館において日本臨床衛生検査技師会 創立65周年・法人化55周年記念式典、記念講演会に続いて「記念祝賀会」が開催されました。

会場には伊達忠一参議院議長、塩崎恭久厚生労働大臣をはじめ臨床検査に関わるお歴々の皆様がお祝いに駆けつけていただき、祝賀会は華やかなムードに包まれました。

挨拶の中で伊達議長は今回の医療法、臨床検査技師等に関する法律の改正が厚労省内において大変グローバルな扱いをして頂いた点、塩崎大臣は今までのIPSから今後はゲノム検査への予算化について述べられ、お二人とも臨床検査の時代であることを強調されておられました。

宮島喜文会長はじめ列席の皆が祝賀ムードの中で先人たちの礎に感謝し、喜びと今後への期待を感じさせる祝賀会でした。

